

# 輸出事業計画

## ：宮崎県木材協同組合連合会（品目：製材）

### 1. 輸出における現状と課題①

#### ○現状

##### (1) 原木

- ・ 令和元年度の宮崎県の原木輸出額は、商社等からの聞き取りによれば、44億4千万円で、このうち76%が県外商社系企業による中国への輸出であり、主に梱包材や型枠材、米国向けの住宅フェンス材等の材料として輸出。

##### (2) 製品

- ・ 主に台湾や中国へ、大手製材メーカーが建築用の安価な下地材や産業用資材として輸出。
- ・ 韓国へは、より付加価値の高いプレカット材などを輸出するため、セミナー等を実施するなど材料と建築技術をセットにした「材工一体」の手法による取組を実施。

#### ○課題

今後の人口減少に伴う住宅需要の減少等により、国内の新設住宅着工数の落ち込みなどから、木材市場の環境は、今後厳しい状況が見込まれることが懸念されており、新たな木材の需要先として、木材の海外への展開は喫緊の課題となっている。

国は、「食料・農業・農村基本計画」及び「経済財政運営と改革の基本方針2020」・「成長戦略フォローアップ」において、2030年の農林水産物等の輸出目標を現在の5倍の5兆円に設定しており、このうち、林産物の輸出額については、2030年までに1,660億円を目指すこととしている。

本会は、韓国、台湾等、東アジアを主体に製材品輸出を行ってきたが、上記の国の方針と歩調を合わせ、本会及び本会の会員及び組合員に呼びかけ、本計画に一体となって取り組み、さらなる輸出の拡大（輸出国の拡大、輸出額の増加）に取り組むたい。

**輸出事業計画****：宮崎県木材協同組合連合会（品目：製材）****1. 輸出における現状と課題①****○課題****(1) 韓国**

- ① 木造軸組構法のさらなる普及と技術者等不足に対する対応
- ② 「材工一体」の取組のさらなる充実と輸送コストへの対応
- ③ 建築仕様、耐震強化への対応
- ④ イメージの差別化、パートナー企業の確保

**(2) 台湾**

- ① 県産製材品や木造軸組構法の認知不足と技術者等不足に対する対応
- ② 「材工一体」の取組のさらなる充実と輸送コストへの対応
- ③ 建築に関する制度、耐湿性・防腐性、蟻害等への対応
- ④ 県産製品材の良さのPR、継続的なプロモーション、パートナー企業（キーパーソン）づくりへの対応

**(3) 中国**

- ① 輸出ノウハウの吸収、「県産製材品」を知ってもらうための対応
- ② ターゲットの選定、新製材品開発等の支援
- ③ 木材に精通した設計士とのつながり  
→ コラボレーション
- ④ 交流づくり → 現地の商習慣の理解

**輸出事業計画****：宮崎県木材協同組合連合会（品目：製材）****2. 輸出事業計画の取組内容①****○主な取組内容****(1) 韓国**

- ① 普及・啓発
  - ・ 技術者の宮崎への招聘
  - ・ 技術セミナー（第2ステップ）の開催
  - ・ 「木造軸組構法入門」の見直し検討
- ② 生産・加工・流通
  - ・ 「材工一体」の新たな取組方針の作成
- ③ 建築
  - ・ 「木造軸組構法施工手引」の見直し検討
  - ・ 構造計算簡素化プログラムの開発の検討
- ④ 販売
  - ・ 継続的な市場調査、展示会出展
  - ・ パートナー企業のさらなる発掘

**(2) 台湾**

- ① 普及啓発
  - ・ 技術者の宮崎への招聘
  - ・ 技術セミナーの開催
- ② 生産・加工・流通
  - ・ 輸出コーディネーターの設置
  - ・ 輸送コストの工夫
- ③ 建築
  - ・ 宮崎県木材利用技術センターと連携した防蟻害確認
  - ・ 台湾の研究機関等との共同研究
- ④ 販売
  - ・ 継続的な市場調査、展示会出展
  - ・ バイヤーの招聘

## 輸出事業計画

：宮崎県木材協同組合連合会（品目：製材）

### 2. 輸出事業計画の取組内容②

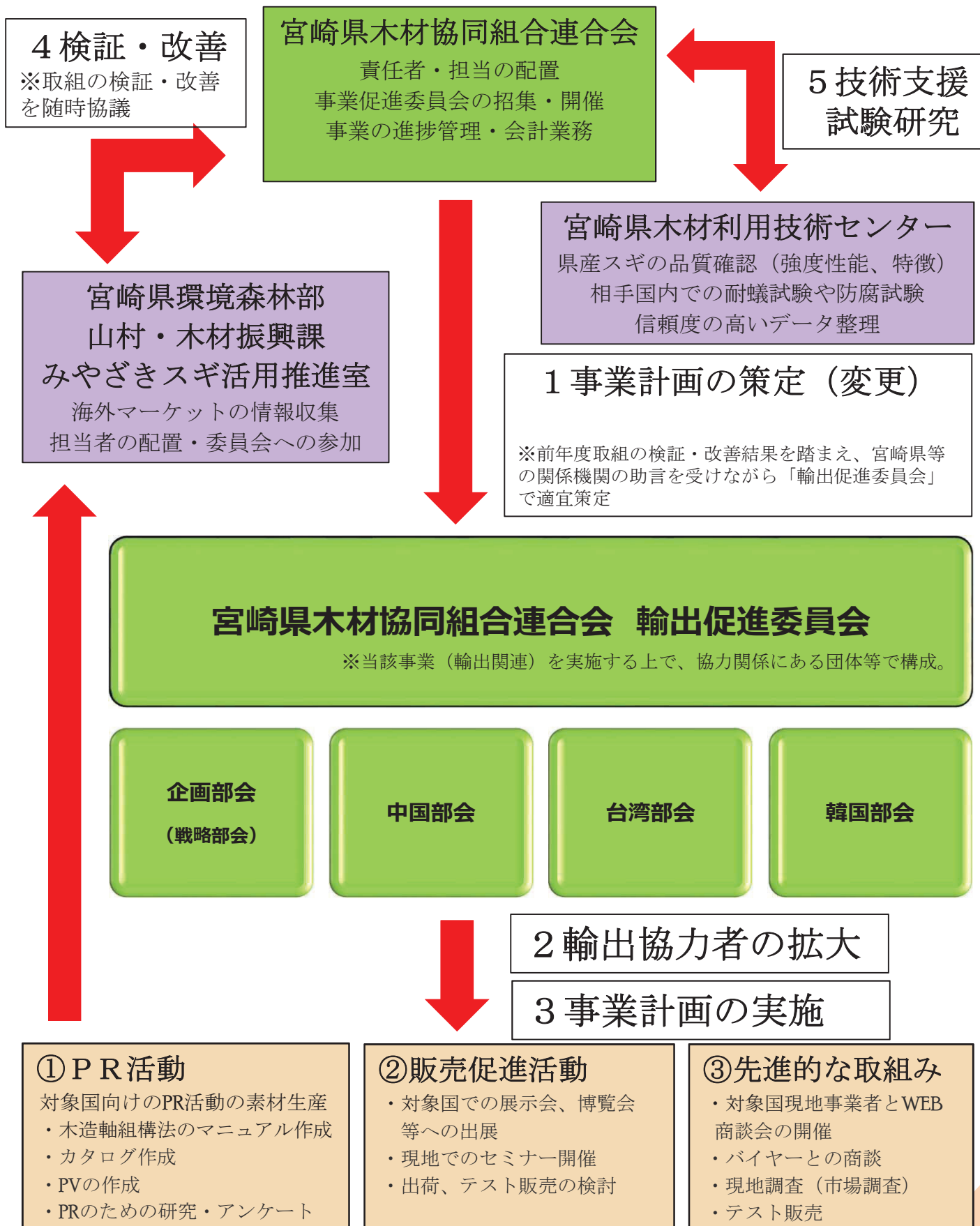
#### ○主な取組内容

##### (3) 中国

- ① 普及・啓発
  - ・ コーディネーターの設置
  - ・ 技術者の宮崎への招聘
  - ・ 技術セミナーの開催
- ② 生産・加工・流通
  - ・ 華北、東北部へのターゲット選定
  - ・ 新製材品の開発支援
- ③ 建築
  - ・ 「中国向け木造軸組設計基準」を活用したセミナーの開催
- ④ 販売
  - ・ 継続的な市場調査、展示会出展
  - ・ テスト販売の実施

# 輸出事業計画 ：宮崎県木材協同組合連合会（品目：製材）

## 3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



## 4. 輸出目標額

輸出の現状と目標は下記の表のとおり。  
目標達成に向けて、これまで築いてきたネットワークや、  
宮崎県山村・木材振興課／みやざきスギ活用推進室との連携を通じて、  
製材品の輸出の拡大を図っていく。

|     |                                      | 現状<br>(令和 2 年度) | 目標年<br>(令和 7 年度) | 備考 |
|-----|--------------------------------------|-----------------|------------------|----|
| 宮崎県 | 輸出額(円)                               | 30,867,193      | 48,000,000       |    |
|     | 輸出量(m <sup>3</sup> )                 | 201             | 312              |    |
|     | 輸出先国                                 | 韓国              | 韓国<br>台湾<br>中国   |    |
|     | 取扱量<br>(製材品出荷量)<br>(m <sup>3</sup> ) | 972,000         | 920,000          |    |

※ 取扱量（製材品出荷量）（m<sup>3</sup>）については、第八次宮崎県森林・林業長期計画における指標（製材品出荷量）からの引用で、宮崎県全体の取扱量。現況は、農林水産省令和 2 年木材統計。